



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | EBITDA※ | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 104,802 | 24.6 | 22,476 | 55.9 | 19,073 | 67.7 | 12,873 | 12.6 | 2,020 | △72.8 |
| 2022年3月期第3四半期 | 84,142 | △4.1 | 14,420 | △22.4 | 11,374 | △26.4 | 11,428 | △25.8 | 7,428 | △28.8 |

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,954百万円(△58.2%) 2022年3月期第3四半期 7,066百万円(△35.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2023年3月期第3四半期 | 円 銭 27.76 | 円 銭 27.45 |
| 2022年3月期第3四半期 | 100.86 | 99.39 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 220,153 | 180,392 | 80.8 |
| 2022年3月期 | 218,056 | 186,056 | 84.0 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 177,821百万円 2022年3月期 183,134百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 55.00 | — | 55.00 | 110.00 |
| 2023年3月期 | — | 55.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 55.00 | 110.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 142,000 | 16.4 | 27,000 | 22.3 | 23,000 | 29.2 | 16,500 | △6.4 | 5,000 | △51.3 | 68.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 78,230,850株 | 2022年3月期 | 78,230,850株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 5,284,525株 | 2022年3月期 | 5,677,300株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 72,799,534株 | 2022年3月期3Q | 73,655,394株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2023年2月10日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (追加情報) | 11 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 12 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|-----------------------|--|--|----------------|
| 売上高(百万円) | 84,142 | 104,802 | 24.6% |
| EBITDA(百万円) | 14,420 | 22,476 | 55.9% |
| 営業利益(百万円) | 11,374 | 19,073 | 67.7% |
| 経常利益(百万円) | 11,428 | 12,873 | 12.6% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円) | 7,428 | 2,020 | △72.8% |

当第3四半期連結累計期間の売上高は104,802百万円(前年同四半期比24.6%増)となりました。また、EBITDAは22,476百万円(前年同四半期比55.9%増)、営業利益は19,073百万円(前年同四半期比67.7%増)、経常利益は12,873百万円(前年同四半期比12.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,020百万円(前年同四半期比72.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|--------------|--|--|----------------|
| 売上高(百万円) | 61,342 | 73,457 | 19.7% |
| セグメント利益(百万円) | 25,543 | 31,806 | 24.5% |

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第3四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、有力IPとのコラボレーションをはじめ、2022年10月に実施した9周年イベントや年末年始イベントが奏功し、ARPU及びMAUが前年同期を上回ったことで、売上高及びセグメント利益ともに増収増益となっております。なお2022年7月には新作タイトルとして、モンスターIPを活用したシリーズ第1弾となる「ゴーストスクランブル」をリリースしております。

この結果、当事業の売上高は73,457百万円(前年同四半期比19.7%増)、セグメント利益は31,806百万円(前年同四半期比24.5%増)となりました。

② スポーツ事業

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|-----------------|--|--|----------------|
| 売上高(百万円) | 12,831 | 20,266 | 57.9% |
| セグメント損失(△)(百万円) | △4,218 | △1,313 | －% |

スポーツ事業では、観戦事業、公営競技事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、2022年2月よりプロサッカーチーム「FC東京」を運営する東京フットボールクラブ株式会社が新たにグループに加わっております。公営競技事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトで、前第3四半期連結累計期間と比較して、オンライン車券販売高が伸びたことで増収となっております。また、「TIPSTAR」は、コストの効率化を進め費用の抑制を図ったことで、セグメント損益は改善しております。

この結果、当事業の売上高は20,266百万円(前年同四半期比57.9%増)、セグメント損失は1,313百万円(前年同四半期はセグメント損失4,218百万円)となりました。

③ ライフスタイル事業

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|--------------|--|--|----------------|
| 売上高(百万円) | 6,915 | 9,338 | 35.0% |
| セグメント利益(百万円) | 552 | 767 | 38.9% |

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「みてねみまもりGPS」の販売が好調であったことや、加えて第2四半期連結会計期間より株式会社CONNECTITを新規連結したことにより、年賀状サービスの売上が伸長し、増収増益となっております。

この結果、当事業の売上高は9,338百万円（前年同四半期比35.0%増）、セグメント利益は767百万円（前年同四半期比38.9%増）となりました。

④ 投資事業

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 前年同四半期比 増減率 |
|--------------|--|--|----------------|
| 売上高(百万円) | 3,052 | 1,633 | △46.5% |
| セグメント利益(百万円) | 1,909 | 1,012 | △47.0% |

投資事業では、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、当社グループの出資するファンドの損益を取り込んだことと、当社及びアイ・マーキュリーキャピタル株式会社の保有する投資有価証券の売却による収益を計上しております。

この結果、当事業の売上高は1,633百万円（前年同四半期比46.5%減）、セグメント利益は1,012百万円（前年同四半期比47.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第3四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が161,361百万円（前連結会計年度末比5,490百万円増加）となり、主な要因としては、売上債権の増加等があげられます。固定資産は58,791百万円（前連結会計年度末比3,393百万円減少）となり、主な要因としては、投資有価証券の減少があげられます。

負債については、流動負債が29,759百万円（前連結会計年度末比8,911百万円増加）となり、主な要因としては、未払金及び契約負債の増加があげられます。純資産は180,392百万円（前連結会計年度末比5,663百万円減少）となり、主な要因としては、配当金の支払いによる減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて4,589百万円減少し、113,843百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は7,615百万円（前年同四半期は1,726百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が6,395百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は5,557百万円（前年同四半期は13,775百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,635百万円及び投資有価証券の取得による支出1,898百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は6,843百万円（前年同四半期は14,864百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払7,574百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「持分法による投資損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 118,633 | 114,062 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,580 | 15,621 |
| 営業投資有価証券 | 14,400 | 18,908 |
| 商品 | 732 | 369 |
| 未収消費税等 | 456 | 1 |
| その他 | 10,106 | 12,432 |
| 貸倒引当金 | △39 | △35 |
| 流動資産合計 | 155,871 | 161,361 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 15,012 | 15,106 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,737 | 10,140 |
| 顧客関連資産 | 6,316 | 5,807 |
| 商標権 | 2,737 | 2,529 |
| その他 | 2,133 | 1,954 |
| 無形固定資産合計 | 21,924 | 20,432 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 13,458 | 9,159 |
| 長期貸付金 | — | 2,242 |
| 繰延税金資産 | 5,620 | 7,123 |
| その他 | 6,186 | 5,873 |
| 貸倒引当金 | △17 | △1,146 |
| 投資その他の資産合計 | 25,247 | 23,252 |
| 固定資産合計 | 62,184 | 58,791 |
| 資産合計 | 218,056 | 220,153 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 645 | 1,720 |
| 未払金 | 11,660 | 15,142 |
| 未払法人税等 | 2,503 | 2,988 |
| 未払消費税等 | — | 1,064 |
| 賞与引当金 | 1,469 | 543 |
| その他 | 4,569 | 8,298 |
| 流動負債合計 | 20,847 | 29,759 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 7,477 | 7,037 |
| 繰延税金負債 | 3,002 | 2,638 |
| その他 | 672 | 325 |
| 固定負債合計 | 11,152 | 10,001 |
| 負債合計 | 32,000 | 39,760 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,698 | 9,698 |
| 資本剰余金 | 9,656 | 9,656 |
| 利益剰余金 | 181,278 | 174,533 |
| 自己株式 | △18,248 | △16,986 |

| | | |
|---------------|---------|---------|
| 株主資本合計 | 182,385 | 176,903 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 471 | 397 |
| 為替換算調整勘定 | 277 | 521 |
| その他の包括利益累計額合計 | 749 | 918 |
| 新株予約権 | 1,506 | 1,133 |
| 非支配株主持分 | 1,415 | 1,437 |
| 純資産合計 | 186,056 | 180,392 |
| 負債純資産合計 | 218,056 | 220,153 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 84,142 | 104,802 |
| 売上原価 | 21,913 | 28,675 |
| 売上総利益 | 62,228 | 76,126 |
| 販売費及び一般管理費 | 50,854 | 57,053 |
| 営業利益 | 11,374 | 19,073 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 6 |
| 為替差益 | 41 | — |
| その他 | 235 | 187 |
| 営業外収益合計 | 276 | 193 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 44 | 44 |
| 持分法による投資損失 | 142 | ※1 6,224 |
| 為替差損 | — | 45 |
| その他 | 35 | 78 |
| 営業外費用合計 | 222 | 6,392 |
| 経常利益 | 11,428 | 12,873 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | — | 0 |
| 特別損失 | | |
| 解約違約金 | ※2 190 | — |
| 事業撤退損 | — | ※3 4,468 |
| 固定資産除売却損 | 34 | 3 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1,129 |
| 関係会社株式売却損 | — | ※4 875 |
| 特別損失合計 | 225 | 6,478 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,203 | 6,395 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,845 | 5,447 |
| 法人税等調整額 | 7 | △1,837 |
| 法人税等合計 | 3,852 | 3,610 |
| 四半期純利益 | 7,350 | 2,785 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △78 | 764 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,428 | 2,020 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 7,350 | 2,785 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △343 | △81 |
| 為替換算調整勘定 | 58 | 244 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | 6 |
| その他の包括利益合計 | △284 | 169 |
| 四半期包括利益 | 7,066 | 2,954 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,144 | 2,189 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △78 | 764 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,203 | 6,395 |
| 減価償却費 | 929 | 1,078 |
| 無形固定資産償却費 | 1,311 | 1,365 |
| のれん償却額 | 804 | 958 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △6 | △4 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,206 | △925 |
| 受取利息及び受取配当金 | △0 | △6 |
| 支払利息 | 44 | 44 |
| 為替差損益(△は益) | △34 | △44 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 142 | 6,224 |
| 営業投資有価証券の増減額(△は増加) | △1,768 | △4,487 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 34 | 3 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △359 | 282 |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | — | 875 |
| 事業撤退損 | — | 4,468 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1,129 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △618 | △4,376 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 960 | 2,777 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △1,466 | 1,262 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △3,652 | △7,891 |
| その他 | 1,738 | 3,409 |
| 小計 | 8,055 | 12,541 |
| 利息及び配当金の受取額 | 0 | 6 |
| 利息の支払額 | △42 | △44 |
| 法人税等の支払額 | △9,740 | △4,887 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,726 | 7,615 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △19 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,013 | △1,635 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △816 | △475 |
| 無形固定資産の売却による収入 | 10 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,928 | △1,898 |
| 貸付けによる支出 | — | △1,200 |
| 貸付金の回収による収入 | 0 | 640 |
| 差入保証金の差入による支出 | △38 | △38 |
| 差入保証金の回収による収入 | — | 28 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | ※2 △469 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 3 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | — | ※3 △921 |
| その他 | 10 | 428 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13,775 | △5,557 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 800 | 999 |
| 長期借入れによる収入 | 35 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △325 | △364 |
| 自己株式の取得による支出 | △7,524 | △0 |
| 配当金の支払額 | △7,707 | △7,574 |

| | | |
|----------------------|------------|------------|
| その他 | △140 | 94 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △14,864 | △6,843 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 65 | 196 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △30,300 | △4,589 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 149,812 | 118,433 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △112 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | *1 119,399 | *1 113,843 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式392,800株の処分により、自己株式が1,262百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式が16,986百万円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社グループは、「投資事業」について、取組の強化により投資規模を拡大するとともに、投資活動を主軸とした当社の持続可能な成長への寄与を目的として、第1四半期連結会計期間より「投資事業」を主たる事業として独立区分し報告セグメントといたしました。

この変更に伴い、財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券に係る損益について、従来、受取配当金を営業外収益、売却損益を特別損益、評価損を特別損失とする方法によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より受取配当金及び売却金額を売上高、売却した有価証券の帳簿価額及び評価損等を売上原価に計上する方法に変更しております。また、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資に係る損益について、従来、持分相当額を純額で営業外損益に計上しておりましたが、第1四半期連結累計期間より組合ごとに利益の場合は売上高、損失の場合は売上原価に計上する方法に変更しております。なお、連結貸借対照表上、従来、投資その他の資産の投資有価証券に含めて計上しておりました財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券は、第1四半期連結会計期間より流動資産の営業投資有価証券として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「投資有価証券」に表示しておりました14,400百万円は、「流動資産」の「営業投資有価証券」に組み替えております。

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「投資事業組合運用益」342百万円、「受取配当金」10百万円、「特別利益」の「投資有価証券売却益」2,044百万円、「投資有価証券清算益」51百万円、「特別損失」の「投資有価証券評価損」318百万円を組み替えた結果、「売上高」が3,052百万円、「売上原価」が922百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取利息及び受取配当金」△10百万円、「投資事業組合運用損益(△は益)」△446百万円、「投資有価証券売却損益(△は益)」△2,044百万円、「投資有価証券清算損益(△は益)」△51百万円、「投資有価証券評価損益(△は益)」318百万円、「利息及び配当金の受取額」10百万円及び「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券の取得による支出」△3,896百万円、「投資有価証券の売却による収入」2,388百万円、「投資有価証券の分配による収入」1,428百万円、「その他」51百万円を「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「営業投資有価証券の増減額(△は増加)」△1,768百万円、「その他の資産の増減額」△3,652百万円、「その他」3,168百万

円に組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 持分法による投資損失

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

持分法適用関連会社であるビットバンク株式会社への投資に伴うのれん相当額について、経営環境の変化に伴い当初に想定していた事業計画を再検討した結果、未償却残高のうち4,818百万円を減損損失として持分法による投資損失に含めて計上しております。

※2. 解約違約金

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

新規プロダクトの開発を中止したことにより生じた解約違約金190百万円を特別損失に計上しております。

※3. 事業撤退損

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

新規プロダクトの開発を中止したことにより生じた事業撤退損4,468百万円を特別損失に計上しております。

※4. 関係会社株式売却損

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社の連結子会社である株式会社PIST6の全株式を売却したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 119,399百万円 | 114,062百万円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | －百万円 | △218百万円 |
| 現金及び現金同等物 | 119,399百万円 | 113,843百万円 |

※2. 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

株式会社CONNECTIT

| | |
|------|--------|
| 流動資産 | 271百万円 |
| 固定資産 | 72百万円 |
| 資産合計 | 344百万円 |
| 流動負債 | 5百万円 |
| 負債合計 | 5百万円 |

※3. 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

株式会社PIST6

| | |
|------|----------|
| 流動資産 | 4,480百万円 |
| 固定資産 | 0百万円 |
| 資産合計 | 4,480百万円 |
| 流動負債 | 526百万円 |
| 固定負債 | 2,242百万円 |
| 負債合計 | 2,769百万円 |

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------------------------|------------|-------------------|-------|--------|--------------|----------------------------|
| | デジタル エンター テインメ ント事業 | スポーツ 事業 | ライフス タイル事 業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 (注) 3 | 61,342 | 12,831 | 6,915 | — | 81,089 | 0 | 81,089 |
| その他の収益 | — | — | — | 3,052 | 3,052 | — | 3,052 |
| 外部顧客への売上高 | 61,342 | 12,831 | 6,915 | 3,052 | 84,142 | 0 | 84,142 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 61,342 | 12,831 | 6,915 | 3,052 | 84,142 | 0 | 84,142 |
| セグメント利益又は損失(△) | 25,543 | △4,218 | 552 | 1,909 | 23,786 | △12,412 | 11,374 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 274 | 1,103 | 190 | 0 | 1,568 | 672 | 2,241 |
| のれん償却額 | — | 709 | 95 | — | 804 | — | 804 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△12,412百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,568百万円及びのれん償却額△804百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△10,038百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------------------------|------------|-------------------|-------|---------|--------------|----------------------------|
| | デジタル エンター テインメ ント事業 | スポーツ 事業 | ライフス タイル事 業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 (注) 3 | 73,457 | 20,266 | 9,338 | — | 103,061 | 107 | 103,168 |
| その他の収益 | — | — | — | 1,633 | 1,633 | — | 1,633 |
| 外部顧客への売上高 | 73,457 | 20,266 | 9,338 | 1,633 | 104,694 | 107 | 104,802 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 73,457 | 20,266 | 9,338 | 1,633 | 104,694 | 107 | 104,802 |
| セグメント利益又は損失(△) | 31,806 | △1,313 | 767 | 1,012 | 32,273 | △13,200 | 19,073 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 238 | 1,273 | 223 | 0 | 1,735 | 708 | 2,444 |
| のれん償却額 | — | 718 | 240 | — | 958 | — | 958 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,200百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,735百万円及びのれん償却額△958百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上107百万円、全社費用△10,613百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

投資事業を主要な事業の一つとして取り組むことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「投資事業」を独立区分し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。